

港区エリア別活性化プランにより、2025年大阪・関西万博に向け、魅力あるまちづくりを進めます！

各エリアに基本方針を定めて、エリアの特色を活かしたまちづくりを進めるとともに、各エリア間のまちづくりの動きを互いに連携させることにより港区全体の活性化を実現していきます。



エリア別タウンミーティングを開催し、ご意見をいただきました。

西部エリアタウンミーティング 令和3年12月20日(月)



- 2025年港区制100周年に向け、新しい技術とイベントを融合させ産業振興やSDGs達成に貢献できる取り組みを提案していきたい。
- 築港は物流施設が集積しているが、子どもの教育施設や大人も勉強できる施設が必要。シェアサイクルは有効であり継続してほしい。
- 若い人が集まるよう、スケーターと連携してスケートボードパークやスクールを実現してほしい。

中部エリアタウンミーティング 令和3年12月10日(月)



- 高齢者ばかりにならないよう、若者を呼び込み、起業家や高所得者にも住んでもらう必要がある。市営住宅建て替えの跡地も活用し、行きたくなる店や子育て施設の充実、教育レベルの向上に取り組むべき。
- ドッグランやスケートボードはできる施設が無いと迷惑行為となるので、八幡屋公園を活用してこれらができる場も作り多くの人を呼び込んでほしい。

東部エリアタウンミーティング 令和3年12月6日(月)



- 市岡商業高校跡地の方向性が見えないままであり、区役所が主体となって公民連携で活用できる複合的機能を持つ場所にしてほしい。弁天地域の回遊性が向上する導線をつくるために、跡地を暫定利用する社会実験を行ってはどうか。
- 弁天町駅周辺は高層住宅ばかりが建つが高層住宅だけではまちにならず、コミュニティの活性化につながる開発が必要。